



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

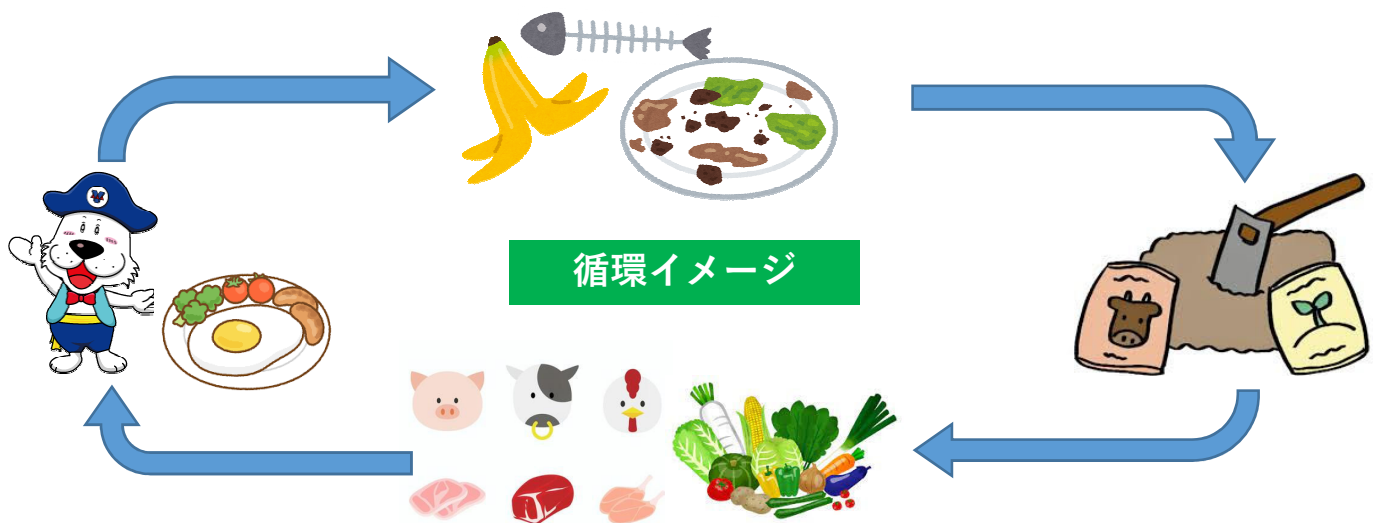
SDGsに向けた赤城の取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年の国連サミットで採択された持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、17のゴールから構成されます。ここでは赤城林間学園が取り組んでいる目標についてご紹介します。



ゴミの省力化 再資源化への取り組み

赤城林間学園では利用者に食事を提供しています。学校利用では多くの児童が食事をするため、ビュッフェ形式を採用し自ら考え食べられる量だけ取り分けることで食べ残しを減らすことに協力をお願いしています。また、自主事業では参加者の皆さんに取り組みを説明しています。それでも出てしまった分については、ただ廃棄するのではなく委託している回収業者が家畜用の飼料や肥料に加工することで新たな食物へと生まれ変わる。こういった循環型の社会が大地を守り、いつまでも住み続けられるまちづくりに繋がっていくと考えます。



身近に出来るSDGsの取り組み

食事を作る際に廃棄してしまう野菜の芯や皮を弱火でじっくり煮込んだ出汁をベジブロススープと言います。

自主事業にて、学園食で出た野菜の芯や皮を使用し、ベジブロススープ作りを行いました。ベジブロスの旨味でいつもより少ない調味料で体にも環境にも優しいエコなスープを参加者の皆さんにご提供しました。



参加者に説明する学園栄養士

(公財) 横浜市スポーツ協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています